

●ライディングポジション

ライディングポジションは、小柄な方から大柄な方までの使用を想定した広い適応性を持たせ、渋滞した街中から高速道路を利用した郊外へのツーリング、時にはワインディングロードでのスポーティーな走行まで、ストレスが少なく、より扱いやすい、自然体のライディングポジションとしました。

シートは、硬さと形状の最適化により安心感のある足着き性を実現、ライダーやパッセンジャーの動きを妨げず、快適かつ軽快に、楽しめる機能的な形状としました。

●車体ディメンションと部品配置

車体ディメンションは、軽快でありながらも安心感のある素直なハンドリングに寄与する設定としました。そのため、新開発のコンパクトなエンジンを活かし、ホイールベースを1410mm、キャスト角を $25^{\circ}30'$ (400X: $25^{\circ}55'$)、シート高は785mm(400X:795mm)とし、重量物を車体重心に集中させマス集中化を図るとともに、前後の重量配分を最適化することで、軽快さと旋回性を高い次元で調和させています。なお、エンジンマウントの位置や形状、そしてフレーム剛性バランスの最適化により、軽量化と安心感のある素直なハンドリングに寄与するとともに、不快な車体振動を軽減しています。

■車体ディメンション

